

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		農業委員会の運営			20年度予算コード	001	整理番号	120	枝番号		
担当部課名	区民生活部 産業経済課		コード	051804	昨年度 整理番号	152					
係名	都市農業係		連絡先 電話番号	3083							
上位施策名		No	47	新しい都市農業の推進							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	26 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード						
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 農業者・農業団体及び農業委員会		(1) 農業委員会等に関する法律 (2) 農地法 (3) 杉並区農業委員会の選挙による委員の定数条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	農業委員会総会開催(年12回)、農業・農地等に関する諸証明の発行及び農地・農業生産・経営等に関する調査指導		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 農業者・農業団体を援助し、農業の振興を図り、農地の保全と農業経営の向上を図る。							
	活動指標名(式)	(1) 諸証明の承認・発行件数 (2) 農業委員活動記録カード作成件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 農家戸数 (2) (代) 農地面積							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/		
	活動指標(1)	件	92	92	79	70					
	活動指標(2)	件	350	350	378	350					
	成果指標(1)	戸	183	183	179	179					
	成果指標(2)	ha	54	54	52	52					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,424	9,621	6,479	9,177	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0					
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.04 0.00	0.75 0.00	0.82 0.00	0.75 0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,422	6,855	7,495	6,855				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	16,846	16,476	13,974	16,032					
	単位あたりコスト(-)÷	円	183,109	179,087	176,886	229,029					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0				
		国・都等からの支出金	千円	574	574	618	618				
特定財源計 +		千円	574	574	618	618					
差引: 一般財源 -		千円	16,272	15,902	13,356	15,414					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	農業委員報酬		14	人	4,536						
	一般需用費				685						
	農業祭等分担金		3	件	577						
	委員費用弁償・行政視察		14	人	427						
その他 (役務費など)				254							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 120 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	85.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	108.0	19年度予算 執行率%	67.3
	行政視察における交通手段を、公共交通機関から区庁有車に変更したことにより、歳出額が減少した。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	実績に基づき、平成20年度の行政視察費については予算額を半減させた。
---	------------------------------------

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	農地面積 / 農家戸数 平成 元年4月 89.70ha / 377戸 平成20年4月 52.30ha / 179戸
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区内の農業は、新鮮で安全安心な野菜や果実、また草花や植木などを供給するほか、みどりの空間として自然とのふれあいや子どもたちの環境教育の場を提供し、また適切な農地管理を行うことで、災害時にはオープンスペースとしても区民の生活にとって重要な役割を担っている。
	今後の予測	今後も農地・農家戸数の減少が進むことが予測されるが、新鮮で安全安心な農作物に対する需要やみどりの保全の必要性はますます高まるものと考えられる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 農業委員会の運営を通じて農業振興事業に積極的に関わること で、都市農業の推進を図ることができる。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 法令に基づく所管事項を執行するだけでなく、都市農業振興策についても調査、研究し、今後の区における農業のあり方をまとめる。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 直接的な受益者に該当しない。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 農業委員会の運営そのものが事業目的であり法令及び条例による委員会構成に応じた義務的経費の支出であるため、その余地はない。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)			
	(3) 協働等の形態				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新鮮で安全安心な野菜などの供給やみどりの空間として、自然とのふれあいや子どもたちの環境教育の場、また災害時にはオープンスペースとして住民と共存できる都市農地の保全に努める。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 他区(当区を除く農業委員会設置6区)の状況の把握と連携が必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区内の農業の現状と将来予測を把握したうえで、より効率的な委員会運営のあり方を検討する。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		農業の支援・育成			20年度予算コード	2	整理番号	121	枝番号			
担当部課名	区民生活部 産業経済課	コード	051804		昨年度 整理番号	153 154 155						
係名	都市農業係	連絡先 電話番号	3083									
上位施策名		No	47	新しい都市農業の推進								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	26 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	一般区民、農業者、農業者団体		根拠法令等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	ふれあい農業体験や体験型農園の運営により農業体験の場を提供する。先進的農業集団への補助や農業祭等を実施する。草花植木野菜等の即売会を開催する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1) 区内農業の振興により、生産性の高い都市農業の発展を目指す。(2) 農産物の提供や農業体験を通じ、区民の農業や農地保全への理解を深める。								
	活動指標名(式)	(1) ふれあい農業体験参加者数 (2) 体験型農園整備農業者に対する運営管理費助成件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ふれあい農業体験実施によって収穫の体験ができた人数。 (2) 体験型農園運営によって農業生産を体験できた人数								
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
	活動指標(1)	人	43	70	54	70	70	77.1				
	活動指標(2)	件	1	1	1	1	1	100.0				
	成果指標(1)	人	43	70	54	70	70	77.1				
	成果指標(2)	人	100	100	100	100	100	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,648	11,506	11,099	14,554	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0						
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.27	1.45	1.86	0.50	1.45	0.60				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	20,566	13,253	17,000	13,253					
		非常勤職員分	千円	0	0	1,385	1,662					
	総事業費 + +	千円	24,214	24,759	29,484	29,469						
	単位あたりコスト(-)÷	円	563,116	353,700	546,000	420,986						
	財源	受益者負担分	千円	12	12	8	12					
		国・都等からの支出金	千円	0	5,000	5,000	5,000					
特定財源計 +		千円	12	5,012	5,008	5,012						
差引: 一般財源 -		千円	24,202	19,747	24,476	24,457						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)							
	ふれあい農業体験の実施		54	人	60							
	魅力ある都市農業育成対策事業補助金		1	団体	1,000							
	企業的農業経営者の育成を目的とした助成		6	団体	1,408							
	農業祭の支援		1	回	642							
その他 ()				7,989								

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 121 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	77.1	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	96.5
		概ね計画どおり執行したが、農業ボランティアについては、農業者側の需要が少なく、前年度以前の登録者の配置先が確保できないため、当該年度は養成を見送った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		JAとの連携によって各種事業を行っている。農業ボランティアについては需要と供給のバランスが取れていない。配置先の掘り起こしを考える必要がある。19年度から新たに魅力ある都市農業育成対策事業を開始し、農業経営に意欲的な農業者への支援を行った。20年度に、区立小中学校の給食に区内産の農産物を供給し、子どもたちに食育と区内農業への理解を深めてもらう「地元野菜デー」を実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	開始当初から比べると農地面積、農家数とも大きく減少しており、単に産業として捉えるのではなく、みどりの保全、災害時の避難場所、地産地消、食育などの面から考える必要がある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	食料自給率の問題や景観保持、自然保護の点、都市防災の面などから農地の保全に対する要望が強い。また、直売所など身近な場所で新鮮で安全な農産物を手に取ることができる利便性もあり、地産地消に対する要望はさらに強まると思われる。					
	今後の予測	後継者不足や土地税制の問題を背景に、農地や農業者の減少は今後も進んでいくと思われる。反面、農地保全の必要性と農業を身近なものとして感じる区民は増えると思込んでいる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 事業の実施により農業者の営農意欲の向上と区民の区内農業への理解が深まっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 補助団体が持っている生産性向上の技術を広く伝えてもらうよう施策を進めていくことが必要である。また、イベントの内容について、より区民の興味を引くような工夫を行う。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 農業者の営農意欲の向上と農業に対する区民の理解を得る事業であり、農業者や区民に負担を求めることは難しい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 交付金と事業運営経費であり、すでにコストの低減化が図られている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 各種事業はJAをはじめとして農業者団体との連携なしでは行えない。実行委員会による農業祭の実施等、いろいろな方法で協働が実現している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民に農業、農地への関心、親しみを持ってもらうことを目指し、減少しつつある農地の保全、農業振興に資する事業として展開する。また先進農業者支援を行い、区内における都市型農業経営の先駆的取組みを推進する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 農業者の高齢化及び営農意欲の停滞が目立つ。今後の農業経営の魅力を高めるとともに、若手後継者の活躍の場をつくる必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 魅力ある都市農業育成対策事業については、事業として一定の成果を挙げた。21年度は、その実績を検証し、22年度以降の新たな取組みを検討する。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民農園の維持運営		20年度予算コード	003	整理番号	122	枝番号	
担当部課名	区民生活部産業経済課		コード	151804	昨年度 整理番号	156			
係名	都市農業係		連絡先 電話番号	3083					
上位施策名		No	47	新しい都市農業の推進					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	49 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 当選した世帯・団体、利用承認された教育又は福祉を目的とする団体		根拠法令等 (1) 特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 (2) 杉並区特定農地貸付規程 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	1世帯につき1区画(10㎡)をおおむね2年間、利用料年間3,000円で貸付けする。ただし、教育又は福祉を目的とする団体は無料。 1団体につき1区画(100㎡)をおおむね2年間、利用料20,000円で貸付けする(利用状況が良好な場合、2年間に限り延長可能)。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1) 耕作地を有しない区民に農地を貸し、自然にふれあう機会を提供するとともに、農作業を通じて農業に対する理解を深めてもらう。 (2) 緑地を保全する。					
	活動指標名(式)	(1) 貸出区画数 (2) 農園数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)緑地面積 < 小数点第三位以下切捨て > (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	区画	1,766	1,549	1,590	1,549			
	活動指標(2)	園	12	12	12	12			
	成果指標(1)	ha	2.72	2.34	2.34	2.34			
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,717	34,410	29,717	9,911	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	1,293	22,130	20,350	0			
	(内) 委託費	千円	3,911	10,074	7,597	7,641			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.14	0.80	0.93	0.08	0.80	0.40	19年度は、区民農園数が1増1減し、開閉園工事に伴う事業費が増加した。
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,328	7,312	8,500	7,312		
		非常勤職員分	千円	0	0	222	1,108		
	総事業費 + +	千円	17,045	41,722	38,439	18,331			
	単位あたりコスト(-)÷	円	8,920	12,648	11,377	11,834			
	財源	受益者負担分	千円	5,376	4,715	4,801	4,715		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	5,523	0		
特定財源計 +		千円	5,376	4,715	10,324	4,715			
差引: 一般財源 -		千円	11,669	37,007	28,115	13,616			
受益者負担比率 ÷	%	31.5	11.3	12.5	25.7				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	工事費				20,013				
	建物等管理委託料				7,073				
	一般需用費				1,041				
	光熱水費				1,002				
	その他 (備品購入費、郵便料)				588				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 122 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	102.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	86.4
		開閉園工事の設計差金・落札差金が約1,780千円発生した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		管理委託の内容を精査し、委託料を削減した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和49年度に開設。平成19年4月現在、12園を運営している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	市街地の中での貴重なうおいの場・緑地として利用者などから好評を得ている。一方、不正利用者への対応など、苦情・要望が寄せられている。また、近隣住民から、路上駐車、ごみの投棄、園内での集団による恒常的な飲酒行為などの苦情が寄せられた。					
	今後の予測	団塊世代の退職などもあり、余暇活動への需要増が見込まれること、食の安全への関心の増大などを背景に、区民農園の利用希望者は増加すると思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:土・緑に親しむことを希望する区民は多く、区民農園利用の需要は多い。また、緑地保全及び防災空地の確保の観点からも施策に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:区民農園を増やせば、区民の需要を満たすことになるが、維持管理費用は増加する。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:世帯あたり年3,000円の利用率について、コストと受益の関係、利用モラル向上、近隣自治体の状況などを総合的に見極めたうえで、妥当かどうか検証する必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:区民農園の果たしている公共的役割から、現状の区経費負担は止むを得ないものとする。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	社団法人及び民間事業者に、草刈、不耕作区画の点検、農具保存状態の点検、樹木剪定等の作業を委託している。今後は、区民農園の運営についても指定管理者制度や委託等を行う方向で検討していく。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 除草等の作業だけでなく、区民農園の運営を含む包括的な委託等(指定管理者を含む)を行う方向で検討していく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 20年10月に1園増設する予定である。